【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】令和1年7月18日(2019.7.18)

【公開番号】特開2018-22061(P2018-22061A)
【公開日】平成30年2月8日(2018.2.8)
【年通号数】公開・登録公報2018-005
【出願番号】特願2016-153644(P2016-153644)
【国際特許分類】
Ｇ０９Ｇ　3/20　(2006.01)
Ｇ０９Ｇ　3/36　(2006.01)
Ｇ０９Ｇ　3/3233　(2016.01)
Ｇ０９Ｇ　3/3291　(2016.01)
Ｇ０９Ｆ　9/46　(2006.01)
Ｇ０９Ｆ　9/30　(2006.01)
Ｇ０９Ｆ　9/33　(2006.01)
Ｇ０９Ｆ　9/37　(2006.01)
Ｇ０２Ｆ　1/133　(2006.01)
Ｈ０１Ｌ　51/50　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０９Ｇ　3/20　６２３Ｑ
Ｇ０９Ｇ　3/20　６２４Ｂ
Ｇ０９Ｇ　3/20　６４２Ｋ
Ｇ０９Ｇ　3/36
Ｇ０９Ｇ　3/20　６２１Ｂ
Ｇ０９Ｇ　3/20　６２３Ｆ
Ｇ０９Ｇ　3/20　６４１Ｃ
Ｇ０９Ｇ　3/20　６４２Ｆ
Ｇ０９Ｇ　3/20　６１１Ａ
Ｇ０９Ｇ　3/3233
Ｇ０９Ｇ　3/3291
Ｇ０９Ｇ　3/20　６８０Ｈ
Ｇ０９Ｇ　3/20　６８０Ｅ
Ｇ０９Ｇ　3/20　６３３Ｒ
Ｇ０９Ｆ　9/46　Ｚ
Ｇ０９Ｆ　9/30　３８０
Ｇ０９Ｆ　9/33
Ｇ０９Ｆ　9/37
Ｇ０９Ｆ　9/30　３６５
Ｇ０２Ｆ　1/133　５５０
Ｈ０５Ｂ　33/14　Ａ

【手続補正書】
【提出日】令和1年6月10日(2019.6.10)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】

【請求項１】
コントローラとソースドライバと画素部とを有し、
前記画素部は、第１の画素と第２の画素とを有し、
前記第１の画素は、第１のサブ画素と第２のサブ画素とを有し、
前記第２の画素は、第３のサブ画素と第４のサブ画素とを有し、
前記第１のサブ画素と前記第３のサブ画素とは、第１ラインに含まれ、
前記第２のサブ画素と前記第４のサブ画素とは、第２ラインに含まれ、
前記コントローラは、１フレーム分の第１の画像信号と、１フレーム分の第２の画像信号とを、前記第１の画素と前記第２の画素との配列順に合わせて並び替えることで、第３の画像信号を生成する機能を有し、
前記コントローラは、前記第３の画像信号を、前記第１のサブ画素と前記第２のサブ画素と前記第３のサブ画素と前記第４のサブ画素との配列順に合わせて並び替えることで、第４の画像信号を生成する機能を有し、
前記ソースドライバは、前記第４の画像信号を前記第１のサブ画素と前記第２のサブ画素と前記第３のサブ画素と前記第４のサブ画素とに供給する機能を有し、
前記第１のサブ画素または前記第２のサブ画素の一方は、液晶素子を有し、
前記第１のサブ画素または前記第２のサブ画素の他方は、発光素子を有し、
前記第３のサブ画素または前記第４のサブ画素の一方は、液晶素子を有し、
前記第３のサブ画素または前記第４のサブ画素の他方は、発光素子を有する表示装置。
【請求項２】
請求項１において、
前記第４の画像信号が、前記第１のサブ画素に対応する電位の極性の情報と、前記第２のサブ画素に対応する電位の極性の情報と、前記第３のサブ画素に対応する電位の極性の情報と、前記第４のサブ画素に対応する電位の極性の情報と、を有しており、
前記ソースドライバは、前記第１のサブ画素に対応する電位の極性の情報と、前記第２のサブ画素に対応する電位の極性の情報と、前記第３のサブ画素に対応する電位の極性の情報と、前記第４のサブ画素に対応する電位の極性の情報と、を用いて前記第４の画像信号をデジタルからアナログに変換する機能を有する表示装置。